



## ●8月の巻頭文 隈元達雄(1組)

8月の原稿を大石くんから2ヶ月前に頼まれたが、さてこの暑い最中にいつもに増して頭がまわらないし、しかも少し体調もままならない中でどうしようかと思う日々である。

そうは言っても書かないと空白ができてしまう。エイ ままよ！ と好きなことを書くことにした。題して「私の好きな『孤独のグルメ』」。ご存知のように元は「テレビ東京」の番組である。

テレビ東京の系列放送局はこの片田舎の鹿児島にはない。大放送局でネットワークがないのはこのテレビ東京だけだ。

しかし、テレビ東京の番組は昔の「田舎に泊まろう」から現在の「youは何しに日本へ」「ガイアの夜明け」など面白い番組は鹿児島その他系列のテレビ局がテレビ東京から買って放送している。

もっとも「BS テレ東」は我が家のテレビでも見ることができるし、ネットでは「YouTube」で「孤独のグルメ」などはいつでも見ることができる。

そういう中で大食いの私がかぶり込んだ番組の一つが「孤独のグルメ」である。



### 私の好きな「孤独のグルメ」

子供の頃から貧乏な家庭に育った私は食へのこだわりは今でも強く、食欲で大食いである。しかしおいしいものはもちろん食べたいが世にいうグルメではない。何でも腹いっぱい食べればよい。

「孤独のグルメ」の主演はイケメン俳優？ の松重豊である。その松重豊に私がよく似ているという話が世に伝わった(大げさ)のは2017年10月放映開始のNHK 朝ドラ「ちりとてちん」で松重豊が主演の父親に扮して以降のことである。そのことは下記クリックで出てくるので参照ください。

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201304150000/>

この番組の原作は久住昌之、作画は谷ロジローの漫画だという。1994年から1996年にかけて扶桑社「月刊PANJA」で連載されたというが、読んだことはない。

その後は「SPA」2008年1月15日号に読み切りとして復活し、以後「SPA」上で2015年まで掲載されていたそう。

テレビ東京系でテレビドラマ化し放映されるようになったのは2012年1月期からで次第に人気番組になっていったとのことだが、私がそれを知ったのはだいぶ時間が経過した後だった。

松重豊扮する主演の名前は「井之頭五郎」。個人で輸入雑貨商を営んでいるという設定である。その五郎は依頼のあった客と会うために、主に東京近郊の街に出かけて、先ず商談先を訪ねるのだが、食いしん坊の五郎は、たまには

客先までたどり着くまでに街なかにある目についたおいしそうなもののある喫茶店に入ったり、土地の名物の饅頭やケーキ、珍しいものに目がいき、ついつい立ち寄って食べるようなことも再三である。

その後、客先での商談の様子も映されるが、商談が終わった五郎は街に出て「何だか急に腹がへったあ」「そうだ店を探そう」という決めゼリフが出る。

ここからが本番と言っていいだろう。入る食いもの屋も大衆食堂がほとんどで、和食・洋食・中華・アジア・カレー・肉料理・魚料理・スイーツ・その他何でもござれである。

ここでは両国にある「ちゃんこ大内」を訪れて「ちゃんこ鍋 鳥そっぷ」を食べるときの様子を取り上げる。ここは我々年代には記憶にある大関・大内山の家族が経営されている店だという。先ず誰でもそうだが、初めて入った店ではメニューを見て料理を決めなければいけない。

五郎もメニューを見たり、他の客がどのようなものを食べているのか見回したり、店の人に何がおいしいか聞いたりするのだが、ここでは店の人に「人気メニューは何ですか」と問う。「鳥そっぷ」が一番人気ですよ」「じゃあ、それをお願いします」と注文する。

料理が出てくると、一口食べたときから「うまいじゃないか」「ああ、味が沁みてる」「応えられないな」「つまれもいじゃないか」「横綱相撲」「つまれと鶏肉のぶつかり稽古だ」「どんといこう」「色んな味を出してくるなあ」「味のデパート」「大一番だった」などなどの言葉が五郎の語りで流れる。

そしていよいよ締めうどんが出てくるとそれを食べながら「あれだけちゃんこ食べたのにいくらでも入っちゃうぞ、こいつは！」「あれ、無くなっちゃた。

まだいくらでもいけそうなのに淋しいな」「伝統・伝承・稽古・心技体全てが充実した鍋だった」「ごっつあんです」どこで食べても、何を食べてもその料理にあった気の利いたゼリフを五郎が言う。

この「ちゃんこ大内」でもそうだが、五郎の注文は大食漢の私でも驚くほどの量であり、普通の二倍はゆうに越えている。

下戸という設定で飲み物はウーロン茶で、ご飯もおかわりをするなどその健啖ぶりには驚く。

しかし、決して料理に対するウンチクを言うわけではない。私はそこがこの番組を好きになった理由のような気がする。全体を通じて決して行儀が良いわけではない。おいしく食べるために五郎は、ある意味ではマナーも捨て去り、料理の汁をご飯にかけてみたり、立て続けに口に押し込んでみたり、かきこんでみたり自分がおいしく食べることをひたすら追いつけている。ここが見るものを惹きつけるのではないか。

松重豊へのインタビューを見たことがあるが、その中で松重豊が言っていることは作者の久住の食に対する思いに自分も似ているし、五郎ももちろんそうだ。3人が一体になっている。

更にいわく、「他のドラマの演技は日常の自分とは違うが、食べる行為は嘘ではできない」

「食べることの役づくりは芝居とは違う。楽しい思いをして申し訳ないと思うほど楽しませてもらっている」と言っている。

私は自分が見ていて感じたとおりであったので納得した。

ここまで書いてきて私も「何だか急に腹がへってきたあ」

3時のおやつ時間です。

●日中仲良し旅『花ノ木農場・雄川の滝・吾平山上陵を巡る』



先月末に中国の友人を連れて八期は森繁カーと袁駿カー2台で、中村隆重くんの『花の木農場』見学をメインに、『雄川の滝』『花瀬川』『神川大滝公園』を訪ねます。以下 URL はその時の YouTube 動画です。

<https://youtu.be/0hQlIK0jhis>

●雄川の滝でビールを冷やしてバキューと考えるのは宜しくないかもしれないが、できれば最高でしょう

驚きは吾平山上陵のようなものがあつたこと  
またその読みが難しい、アマゾンに

「あひらのやまのえのみささぎ/  
あいらのやまのえのみささぎ/  
あいらさんりょう/あいらさんじょうりょう」  
とあつた。

実に羨ましい時間を過ごされました



中村くんも お元気な様子 なによりです。

===== 西山 和宏

●大石アンサー

正確には吾平山上陵のようです。

この土地の人は『吾平山陵』あいらさんりょう,と読んでらみたいですよ。

神話「高天ヶ原に降りたニニギノミコとコノハナサクヤヒメが南九州神話の始まりですネ。

宮崎の西都原古墳でも一番大きいのがコノハナサクヤヒメのですよ。

神話もこじつけが多くまァフィクションの世界なのでしょうがあちこちにその遺跡が残ってるのはすごいことです。

●神話は、いわば権威付けのための由緒書き

されどいづこの国のものでも壮大な物語

10年ほど中国の公園などを訪れたとき  
時代仕上げの説明板の設置作業をしている  
のを見ました。

吾平山上陵も明治の初めに創られたとか. . .

=====西山 和宏



● 23日（東京オリンピック開会式の日）幸い薄日のハイキングには格好の日和でした。

中国人の友人がお茶の栽培に興味があるというので花ノ木農場を訪ねついでにまだ行っていなかった景勝地『雄川の滝』を目指しました。

●7月30日 西山コメント

大石さん いつもながらありがとうございます。

日本では、中止するつもりはない日本アスリートのメダルが増えると国民もオリンピック開催を支持し選挙にも勝利すると踏んでいるが12歳以上の人口の57.7%がワクチン接種をすませた米国では独立記念日のお祝いを境に感染者が急増し、マスクや消毒用アルコールのパニック購入が始まりました。

日本で行われているバブルは、もう一つのバブルですではじけて破れています。  
外国からオリンピック関係者は、普通に街中を闊歩しています。

●クマモトコメント

いつもありがとうございます。

更に刷新された『八期オンライン通信』の今後の発展を祈念しています。

皆が元気で、いや誰よりも先ず「大石くん」が元気で今後も八期の仲間を引っ張ってってください。

及ばずながら私も微力を尽くします。

私にとって7月は、いいこともなく終わっていきます。

コロナも性懲りもなく何回目かの波を起こしています。全く先が見えません。

そういう中で、オリンピックだけはド派手に執り行われおり、日本人の活躍はあっても何かもう一つ気持ちにじっくり来るものがありません。

私は中止すべきではなかったかと今でも思っています。

まあ、それは兎も角としてお互い八十路を歩いています。皆さんご自愛ください。

隈元達雄

## ○8月2日 大石コメント

今まさに盛夏！

年寄りには外出禁止！

デルタ株怖いですね。

ワクチン効かない!?

1日から奄美大島、金作原原生林ウォーキングに行ってきます。

## ○木場祥雄コメント

大石さん

ワクチン接種 7月に2回目を終わりました。

東京など大都市の感染状況 なかなか下火とならないようですね？

このコロナという病気は ワクチンはじめ わからない事ばかり

なぜ、いろんな面で 優れている日本で ワクチンを作ることができないのですか？

外出も ままならぬ 気を遣いながら シニアマンションでの集団生活です。

専ら、オリンピックテレビ観戦です。アスリートの皆様 この暑さの中で 頑張っておられます。

特に 柔道など活躍見覚ましいです。

大石さんは 奄美大島へのウォーキング旅行 先日 奄美大島が

世界遺産に指定されるとか 固有動物などを夜間に見ることなどテレビで放映されていました。

お互いに この暑さの中 健康に留意して 過ごしましょう！

木場 祥雄

## ○西山コメント

大石さん

家に居づらい人は口実を突を設けてどんどん出かけてください

しかし、出かけられるのはいいですね～

## 木場さん

いろんな面で優れている日本は

いろんな面で遅れている日本でもあります。

半導体では、アメリカから文句を言われるほど優れていましたが

今日では、AIとかデジタルと言っても中身はゼロに等しい。

なぜ日本でワクチンが開発されないのか？

感染症領域のワクチンは流行に左右され

需要が大きく変化するため、ビジネスとしてのリスクが大きい。

そのため、多くの製薬会社はワクチン開発から撤退しました。

感染症には、予防・診断・治療の3つが必要です。

日本では塩野義製薬が唯一これに取り組んでいます

同社は、年内に最大6千万人分のワクチン生産を行う計画を進めています。

このために、同社は政府から 370 億円の助成金を受けています。  
これは遅すぎ、少なすぎかもしれません。

米国の状況について書きましたものを添付します。  
大石注 添付資料 (PDF 添付) を参照 (開く)

#### ○木場コメント—西山さんへ

米国のワクチン接種対応 よくわかりました。薬屋さんで ワクチン接種できること 非常に有効な対策 薬剤師さんに 注射してもらうということは 日本では 馴染めない？かもしれません。

アメリカでは 死亡者が すごいですね。日本は 治療体制が しっかりしているせいでしょうか？  
日本では インフルエンザの方が 死亡者は 多いとか 聞いております。

日本では 感染数は 非常に大きく取り上げられていますが、  
治療薬などの話題が 新聞、TV では ほとんど 取り上げられない 感じがします。今の段階では まず 感染防止の方が 重要なのでしょうか？  
日本での 早い開発期待しましょう。  
また、新しい情報あれば よろしく  
木場 祥雄

#### ○8月3日 森永鉄美コメント

八期通信 配信感謝です。  
この夏 夏バテ気味の生活です。  
皆様の元気に頭が下がります。

添付の花 自分の住む団地西側  
を流れる 真崎川 汽水域に自生する  
ハマボウです。  
まるで栽培種のような派手な花 目  
立ちます。

長崎 諫早 森永



#### ○大石アンサー

受信しました。きれいな花ですね。川といい、河畔と言い、何となく懐かしい感じが伝わってきて川中を流れに逆らいながら歩いてみたい。 そんなきがします。

○花も水も綺麗ですね！ =====西山 和宏

#### ○森永さん

今、グラウンドゴルフから帰ってきてメールを見ました。ちょっとバテ気味でしたが久しぶりにホールインワンも出して、疲れもあまり感じませんでした。ハマボウと言う花きれいですね。優雅さの中にも愛嬌もあるような花だと思いました。

隈元達雄

○NHK 13日金曜日 午前零時

「焼き場に立つ少年をさがして」が放映されます。

この少年のことは、「焼き場に立つ少年」

長崎新聞社 吉岡英二郎著

に詳しく述べられています。

この本の結論として、どこのだれだか特定されていません。

しかし、いくつかのことが述べられています。

まず、この少年が穿いている半ズボンは

当時、長崎の子供には見られない良いものだそうです

弟を背負っている帯に金具がついており

これもかなり良いものだそうです。

この少年が長崎在住の子であったなら写真公表で、

すぐに名前が分かるはずだが分からなかった。

昭和19年8月、沖縄・那覇から長崎に向かった

疎開船「対馬丸」には1700名の民間人や児童が乗船していた。

潜水艦の魚雷攻撃で多くの犠牲者を出した。

この本は、このときの生き残りであろうと推測された。

この少年が、この場に立った時、

おそらく、両親はいなかったと思う。

疎開船に乗る少年に、良い半ズボンを穿かせ

幼い弟を託し背負い帯も良い物を持たせたのであろう。

そして、戦後、この写真が公表されたときには

沖縄には、この少年を知る親族、そして友人ですら

生き残っていなかったのではないだろうか？

なお、この写真を撮影した海兵隊の方同伴として

ジョー・オダネルは、昭和21年3月、佐世保に上陸し

その後7か月間にわたって、長崎・広島を訪れて撮影した。

おそらく、そのとき残留放射能の影響を受けたと思われ

背骨の痛みで入退院を繰り返した。

オダネルが、長崎・広島で撮影した写真をテネシー州で公開したのは、

終戦から1991年頃のことであった。

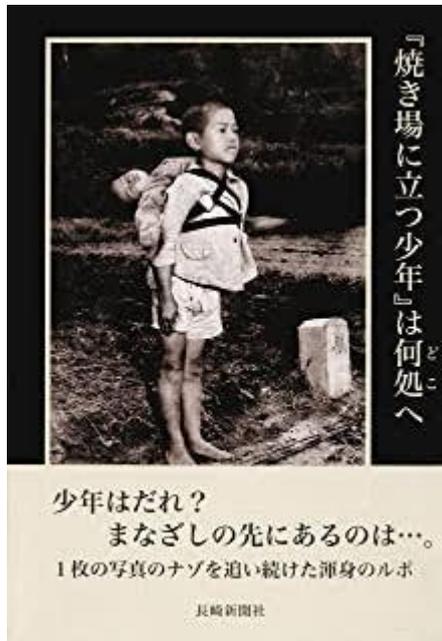
それまで、あまりにも悲惨な写真であったために公開をはばかっていた。

この写真は、原爆投下から62年目の2007年7月、長崎市出島町にある長崎県美術館で特別公開されることをオダネル告げようとした矢先の8月9日「長崎原爆の日」に、テネシー州の自宅で85歳で死去した。その後、オリジナル・プリントは長崎市に寄贈され、平野町の原爆資料館に展示されることになった。

オダネルは、1949年、ホワイトハウスに勤務してトルーマン、アイゼンハワー、ケネディ、ジョンソンの4代大統領を撮影する任務に就いた。

1950年、マッカーサーとトルーマン大統領が南太平洋のウェー島で会談したとき随行し、会談後の散歩の途次「私はカメラマンとして、原爆投下の惨状を見てきました。

閣下は原爆投下を後悔していませんか？」と問うと彼は顔を真っ赤にして、「それは私の決断じゃない、ルーズベルトがやったんだ」と、オダネルは言った。



=====

西山 和宏

## 〇8月11日 隈元コメント

西山さん

8月9日の長崎原爆記念日の記念式典を見ていました。後で、あの有名な総理大臣殿が席につくのが1分遅れたというニュースを聞いて、「ああ、またやらかしたか！ どうしようもないな」と思ったことです。いえいえ、それはどうでも良くはないですが、本題に戻ります。

先日この写真の紹介があった時、3年間長崎に住んだことのある私も知らない原爆に関する秘話がたくさんあるのだなと思いました。それに追い打ちをかけるように先日テレビ放映のあった「長崎の原爆遺跡」が122ヶ所もあるということにも驚きました。

私の知る長崎の原爆遺跡は職場の200mくらい先にあった「戦後建てられた浦上天主堂」の左横に残された原爆で破壊された建物やマリア像の一部が保存されたものと、そこから近い神社に残された鳥居の一部、通称で「一本鳥居」と呼ばれるものくらいです。今度、長崎に行ったら、また少しでも訪ねて見たいと思っています。

「焼き場に立つ少年」の放映は録画して見たいと思っています。ありがとうございました。

隈元達雄

下記をクリックすれば、私の長崎の記録が少しだけですが出てきます。

他にも長崎についてはたくさん書いています。

["https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201701190000/"](https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201701190000/) /

## ○クマモトコメント

13日深夜放送のNHK教育テレビの「焼き場に立つ少年」を録画して先程見ました。

冒頭にローマ法王が2019年11月24日、

長崎市の原爆落下中心地の松山公園を訪れた際に

「焼き場に立つ少年」の写真が飾られて法王が言葉を述べられていたのが印象的でした。

今回の放映でこの写真のNHKや関係者の努力で詳細がわかりましたが、

ただ一つ残念だったのは、肝心の少年の行方が最終的にはわかっていないということです。

アメリカ軍の従軍カメラマン・ジョー・オダネルが写したもので

1945年の10月半ば過ぎの撮影だろうとのことでしたね。

死んだ弟をおんぶして焼き場を訪れ、キリッとした眼差しで焼き場で弟の火葬の順番を待つ姿は涙なしには見ることはできませんでした。

周辺取材でも親を亡くした兄弟や姉妹が親戚を盥回しされ、どうにか生き延びたものの、

弟や妹を自殺にまで追い込んだ周囲の冷たい仕打ちがあったなど悲惨そのものですね。

「戦争というものが、いかに惨めなものであるか」「戦争にもっとも翻弄されるのは誰なのか」語りかけていました。

現在はコロナ禍にあって私達も翻弄されていますが、

こういうことを機会にこれからも私達が戦争についても語り継いでいかなければいけないと思うことでした。

隈元達雄

## ○大石コメント

13日放映「焼き場に立つ少年をさがして」紹介ありがとうございます🥲

「大地の子」の何回目かの再放映と言い、『あの頃…』の記録を「身につまされて」観れる、そして考えさせられる時(刻)に自分たちはいるのだなあ…と感じます。

関口&保坂氏の対談番組『もいちど近現代史』を観ながらついメモを取る自分がいます。

東條英樹とは一体どういう人物だったのか？

もうひとり幕末から大政奉還・王政復古の徳川慶喜の心情は?? じっくり自分なりの想像が膨らみます。

自分なりの歴史観、人物評価に頭を巡らす 80歳からの人生も亦愉しからずや！

## ○木場コメント

大石さん 西山さん 隈元さん

メールいただき有難うございます。

「焼き場に立つ少年をさがして」ビデオ 予約し、見ることにします。

有難うございました。

追伸 原爆記念日に 広島は 挨拶文 読み飛ばし 長崎では 到着遅れ 最近の菅総理大臣はどうか されています。目がうつろ…のようです。

こんな大事な式典での大失点 広島、長崎の原爆関係者 どのような 気持ちで式典を終えられたか…と思うと 情けなく思います。 もっと しっかりしていただきたいと思います。日本を どのような 国にしたいのか ビジョンが お持ちでないような 宰相と受け止めてしまいます。私だけでしょうか？

木場 祥雄

## 〇15日 森永鉄美コメント

隈元さん 西山さん 大石さん 木場さん

いつも配信ありがとうございます。

焼き場に立つ少年 TV 見ました。

自分たちと さほど年の変わらぬ少年の立ち姿 涙です。

TV 解説で 少年の足元の電線 鉄道の信号？連絡用の配線ではないかとのこと

そういえば 爆撃などで 打撃を受けているはず 地上に這わせて取り敢えず通信網を復旧させたものとも解釈出来ますね。

原爆被災者を 鉄道で諫早方面へ運んだとの話も聞きました。

当時の長崎線は 長崎 浦上 道ノ尾 長与 時津 大草 喜々津 諫早のルートしかありませんでした。

今のメイン路線 浦上を出て すぐにトンネルで現川に出るルートは ずいぶん後にできたルート

自分が長崎に来て ずいぶん経ってからの路線です。

TV の解説を聞きながら 自分なりに考えてみました。

素足の少年 原爆投下の浦上から近い 道ノ尾 長与あたりの子ではないか と

遠くまで 妹？弟？の遺体を背負って歩いて行けるとは思えません。

被災者を茶毘にふる 長崎市内だけでは たぶん処理できなかったはずです。

諫早に運ばれた遺体 処理された場所の一つに 江戸時代からの長崎街道近くにあったことも知りませんでした。

火葬にあたった地元の人 すまんな すまんなとつぶやきながら 交代で遺体処理に当たったそうです。

素足の少年 写真は 裏焼きとのことでしたが 畑（田）の近く 背景の山林・地形を見ると 道ノ尾駅から チョイ長与寄りの風景に似たところがあるのを思い出しました。

今では開発が進み 都市化していますが 自分が行ったところは田舎もいいところ

田畑の中の道 舗装も満足にされていない道を オンボロバスが土煙を上げて走っている田舎でした。

裸足の少年 履物もない少年には 遺体をおんぶして遠くまで行くことはできなかったと 思います。

次に 世界大戦が起これば 人類滅亡も覚悟せねば かも。ですね。

焼き場の少年 自分の考え 推察が多く 実際は違うかもしれません。

でも 我々の世代は この少年と変わらぬような 体験をした人がたくさんおられると思っています。

今年のお盆 しんみりお盆 でした。

長崎 諫早 森永

○森永さん ご一同様

隈元達雄コメント

「焼き場に立つ少年」のテレビ放映には、ほんとにいろいろなことを考えさせられました。

長崎の地図も懐かしく見ました。馴染みの「浦上」「長与」(女子事務員さんがいて大雨の日にお父さんの葬儀に行ったことや、そのとき長崎の葬式には角砂糖の飾りが飾られることを知ったことなど思い出しました。)  
「時津」(有力取引先の三菱電機の時津工場も担当していたことなど)いろいろ思い出します。

長崎在住数十年の森永さんには原爆のことなどたくさんの情報をお持ちでしょうね。また機会があったら発信してください。

私は、「焼き場に立つ少年」の放映の後に予告された翌日の「ひまわりの子どもたち」という番組も録画して見ました。  
「焼き場に立つ少年」のときにも少し出てきた戦災孤児収容施設の「向陽園」をめぐる番組でしたが、そこを巣立った子どもたちが60年ぶりの同窓会を開いたというものです。

しかし、そこに集まれたのはたったの5人です。そこからは70~80人が巣立っていったそうですが、施設にいるときも、社会に出てからも孤児院育ちということでひどい差別を受けたそうで、容易に連絡もとれない境遇にあるようです。

刑務所に入った人、自殺した人など孤児というだけで世間の冷たい目にさらされながら生きていかなければならなかったということで、涙なしには見ることができない番組でした。

ただ一つ救いだっただのはこの施設の寮長であった「餅田千代」さんは孤児たちから「お母さん」と呼ばれて慕われ、自分の子供のように接しておられたようで、今回の同窓会でも「お母さん」の話が盛んに語られ、最後には皆で墓参りに行っていました。まだまだ盛りたくさんの内容でしたがこの辺で終わります。

隈元達雄

○ 八期会ゲストコメンテーターの本田哲郎さん(鶴丸高校同期生)からの『焼き場に立つ少年』についてのコメントです。  
大石

【終戦記念日に寄せて】 本田哲郎

○第2回目の「東京オリンピック」の閉会式の日以降から日本列島、梅雨末期のような大雨の日々が続いている中で、第二次世界大戦(太平洋戦争)の終戦記念日を迎えた。

さらに、昨年来の世界的に蔓延している「コロナ禍」も、未だに収束どころか、最近は大変異性のウイルスによる感染者が全国的に異常に多く感染者が続出している現象である。

今までは感染者が比較的になかった当地、鹿児島県でも、最近、異常に蔓延状況がひどく、毎日100名を超える感染者をか数えている始末である。

加えて、この大雨による災害（河川の氾濫、各地の水没、土石流による山崩れ、住宅の崩壊など）が、現在も時々刻々、各地で発生している昨今である。

今や、昨年来の「コロナ禍」と、最近の地球温暖化現象の表れかの異常気象（季節外れの多雨による水害事故など）が同時に、二重の起きている日本列島ではあり、この二つの大きな困難な「難局をいかにクリアできるか？」は当面のおおきな政治的な課題であることは間違いない。

これらの対処は、政府・行政府・地方公共団体らが一体になって主導しながら、政治的・経済的な施策によって、解決を図ってゆくべきである。

以下に述べる大戦の終戦記念日については「国民の意識」として、お互いに「この日」を今一度、改めて、国民こぞって喚起を促す「記念日」として、言及、あるいは記憶を新たにしたいものである。

政府もこの日は、毎年「戦没者慰霊の日」として、天皇陛下ご臨席のもとに、「全国戦没者追悼式」という慰霊式典を開催してきている。

自分も毎年のようにこのブログに、この終戦記念日に寄せて、その時々自分の感慨を述べてきている。

ことは、昨日（8月14日深夜のNHK放送）の「ETV特集」号を見た時の感想を主体に述べてみたい。

NHKは毎年、終戦記念日が近くなるころから、第二次世界大戦関連の「特集」を放送しているが、今年は「焼き場に立つ少年」というタイトルで、当時の長崎原爆が投下された後、約2ヶ月にアメリカ軍のカメラマンジョー・オダネイが撮影したこの写真についてのであった。

この写真は、アメリカ軍が終戦後、日本での占領政策のその後の日本の情勢を観察するために来日したアメリカ軍の一人のカメラマンが撮影した写真であり、この少年は弟か妹かわからないが、亡くなったその遺体を背負って、「焼き場」のそばに立っている写真である。

まさに、けなげに亡き兄弟妹を「焼き場」の近くで、背負っている「少年の姿」であった。まさに、原爆孤児を想起させる、印象深い「写真」である。

昨年、来日したローマ法王が、この写真を取り上げて「戦争のもたらすもの」として言明して、世界的に「注目を浴びた写真」となった。

写真を見ていると、少年の慄然とした表情と共に、歯を食いしばりながら、遠くを見つめている姿は「戦争の悲惨さ」が無言のうちに伝わってくる「感動的な写真」である。

このカメラマンが写した写真は100枚以上あるそうであるが、この撮影者は、彼の生前は公表されていないようであった。

この写真が、何時どこで撮影されたか？も結局は判明していないが、原爆投下後の被災者の写真であることは疑いない。

まさに、この少年は、遺体を火葬した後、いかなる将来の運命が待ち受けていたか？

この映像の製作者は、同じような戦災孤児を探しだし、今や90歳近くになった人々に当時の事情を聴きだしていた。

戦災孤児は自分の親戚か、孤児収容所などで生育していったが、その成長過程も誠に「悲惨な過程」であったようである。

我が子さえ、食べる食料の確保も難しい戦後の荒廃の状況下で、戦災孤児の生き方を想像するに、ほんとに過酷な孤児生活であったであろう。

映像では、孤児収容所生活で、やっと成人として今も生きている「姿」には、感動を怯えた。

これまで、悲惨な状況の中で亡くなった戦災孤児、さらに、この少年が背負っている亡くなっている弟・妹を思う時、戦争というものが、いかに、人生を暗くするかを、如実に語るモノである。

後年、この写真を撮影したジョー・オダネイは、「原爆投下は、日本を救う手段であった」とのアメリカ人の「想い」について、  
原爆投下は「間違いであり、年より、子供を殺人した」と述懐している。

現実のこのような状況に遭遇したこのアメリカ人のカメラマンの「良識」は、ほんとに、尊敬できると思う。

毎年の事ながら、この終戦記念日を迎える度に、終戦時自分は幼い頃ではあったが、あの惨い戦争を実際に経験した自分らとして、後世の人々に、語り伝えるべき戦争観であり、皆さんも今一度、悲惨な戦争の惨禍を忘れないでほしいものである。

もう5年前になるが、自分らの鶴丸高校時代の同期生仲間による「ホーム・ページ」の「談話室」の「特集号」として、あの戦争をかいくぐってきた世代の同期生達の終戦前後の生々しい「体験談」を綴った特集号があった。

「本」としては既に「絶版」となっているが、我々のホーム・ページから、簡単にインストールすることによって、読むことはできる。 鹿児島県立鶴丸高校第9回卒業生同期会「みみずく会」 [mimizuku.org](http://mimizuku.org) から入り、「終戦秘話」特集号にインストールすれば、読むことができる。  
是非、お試しいたいものである。

いつも、広言してはば駆らないが、「戦争は何も良いことはない」という固い信念を持っている。

若い頃からの拙い法学徒の一人であるが、大学時代の「憲法ゼミ」で学んだ「平和憲法」こそ、日本が選んだ最良の「法制」であると信じている。

戦争のない「世界」をいかに構築してゆくべきか？、皆さんで常に反芻する心を持ちたいものである。

## ○本田様からの掲載に対する礼文

大石 慶二 様

いつも、貴重な「情報」ありがとう！！

また、この度は、小生の拙い「ブログ」を皆様にお送りいただき、恐縮です。

いつも長々と書いているブログだけに、興味のある方だけでも覗いていただければという思いで、メールした次第です。

貴兄がこのように皆さんに「周知」していただいで、感謝です。

この「焼き場に立つ少年」は見る人にとって、誰も感動を禁じ得ないと確信します。

今の自民党の政治感覚は、今次、世界大戦への反省から、日本の生き方を模索する事など、

いつの間にか忘れていた有様であり、「原爆禁止」の条約の批准も、アメリカの傘に入っていることで、世界に唯一の被爆国でありながら、頑強に拒んでいる政府与党政府の「だらしなさ」は、今の「コロナ禍」に対する無政策に通じると、嘆かざるを得ません。

我々は、このことを、次の総選挙に大きく訴えていかなければなりません。

老人ながら、指を口に咥えているだけでは、何も変りはありません。

個々でも、小さい声でも、お互いに、近くから「行動」しましょう。

最近の日置市長選挙で、帰郷後、初めて選挙運動(電話のかけまくりだけでしたが)を行いました。

結果は、最初の評判では下位予測の観測がされていましたが、開けてみると、なんと次点の有力な候補に、4,000票も格差をつけて、当選しました。意のある人々が、それぞれ、静かに、それなりに「運動」したことが、このような「番狂わせ」を演じることに至ったと理解しています。

自分たちの信念を「行動に移す」ことがいかに重要かということに気づきました。

お互いに頑張りましょう！！

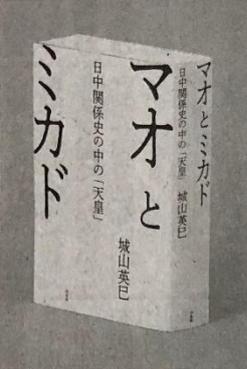
〇15日は、早々と現れることでしよう

しかし、総理の到着を待たずに、定刻に開会を宣言した主催者に天晴です。

=====西山 和宏

## マオとミカド

城山英巳著 (白水社・3080円)



マオとミカド  
中国革命の中心人物 城山英巳  
日中関係史の中の「天皇」  
城山英巳

### 天皇重視の背景明かす

いまや中国は、米国と並ぶ超大国とされることが多い。しかし米国が建国以来ずっと共和国であり続けたのに対して、中国は王朝の時代が長く、辛亥革命以降も蒋介石や毛沢東、鄧小平、そして習近平といったかつての皇帝に相当する支配者が次々に現れた。

そうした国にとって、革命がなく代々継承されてきた天皇というのは畏敬の対象になるらしい。日本では憲法により戦前と戦後で天皇の位置付けが大きく変わったが、中国の支配者たちはそうはとらえなかったのだ。本書は数々の1次資料や関係者へのインタビューをもとに、彼らが戦後もなお国家主席に匹敵する元首として天皇を重視し、日本側も天皇訪中に向け検討を重ねていたことを明らかにしている。

興味深いのは、第2次世界大戦後に対立しあう蒋介石の国民党と毛沢東の共産党が、ともにいったんは昭和天皇を「戦犯」とし、天皇制の廃止を唱えながら、後に廃止はできないと認識を改めたばかりか、憲法に規定された象徴以上の権力を天皇に見いだしたことだ。実際、近年公開された「昭和天皇実録」などから、戦後の天皇はなお権力を保ち、日中関係についても政治的発言をしていたことがわかってきている。

中国の支配者たちは、戦前、戦後を問わず、天皇が日本国民に及ぼす影響力や求心力を熟知していた。その背景には、長年にわたって皇帝が君臨してきた中国ならではの歴史があった。彼らが天皇を「戦犯」としてより外交カードとして重視したのは、そうした歴史からの叡智があつたからだ。この事実を明らかにした本書の功績は、きわめて大きい。

ただ註ちゆを入れて600ほにおよぶ本書は、必ずしも読みやすくはなく、先行研究に該当する記述に紙幅を割きすぎているという印象がぬぐえなかった。博士学位申請論文をもとにしているからだろうが、一般向きへの単行本にするにはもう少し構成を工夫する必要があるように思った。

(原武史・放送大教授)

しるやま・ひびき 1969年三重県生まれ。時事通信記者を経て現在北海道大学教授

〇8月15日 中国について考えてみよう！

〇マオとミカド：面白い書評だと思います

3060円、部数を限定しての売価設定、。

末尾の「もう少し構成を工夫する必要があるように思った」

は、そう書かざるを得なかったのであろう。

NHK

途中まで観て、残りは録画することにしました。あのころは、現代に非常に類似しています

何処がって、無能というよりも害多き輩が

国のリーダーになり、局面を悪化させています。  
末端の政治家選びから変えないと国政は変わらない。  
横浜市長の選挙は注目に値します。=====西山 和宏

# 時論

戦争体験者がいなくなる時

## 「現在」に連なる伝承を

保坂 正康 ノンフィクション作家



ほさか・まさやす氏  
1939年札幌生まれ。同窓社卒。「昭和史を語り継ぐ会」を主宰。昭和史の美学的研究を独自の視点で続ける。2004年に菊池寛賞。著書に「昭和陸軍の研究（上下）」「昭和天皇録 その表と裏」「ナシヨナリスムの昭和」（和辻哲郎文 化賞）など。

太平洋戦争の終結から76年、日  
本軍の真珠湾奇襲攻撃から90年で  
ある。むしろ、もう同時代史は  
言えない。歴史的事件であり事象  
である。善悪とか好悪で論ずる時  
代ではないということだ。  
この歴史的事件を体験した世代  
も、もう後期高齢者である。「体  
験」の意味自体も問われること  
になるのだが、ごく大まかに昭和20  
(1945)年8月15日以前の生  
まれを含めてということにすれ  
ば、76歳未満は戦争を知らない世  
代という言い方ができるのであ  
う。現在の日本社会の年齢構成を  
見れば、この戦争を知らない世代  
が国民の約86%を占める。

### ▽立花隆さんの警告

私は敗戦時に歳であった。北  
海道・内浦湾の人口2万余の街に  
陳開のような形で住んでいたか  
ら、戦争体験といえは、昭和20年  
7月半ばに空襲や函館の港湾都市  
が爆撃されるのを遠くから見た程  
度であった。澄んだ青空をB29が  
編隊を組んで飛んでいく光景が  
あまりにも奇麗で、防空壕から出  
て手を振ったことを覚えている。

母が涙声で私を防空壕に引き戻  
した。強いて言へばこれが私の戦  
時体験である。  
今年月止になったジャーナ  
リストの立花隆さんは、私より半  
年ほど若く戦時体験は中国からの

引き揚げであった。  
7年ほど前になるが、私たちの  
世代として戦争体験をどう伝承す  
るかを話し合ったことがある。そ  
の時の立花さんの言が忘れられな  
い。まさに正論を射っていた。彼は  
次のように述べたのである。

「重要なことは、あの戦争の体  
験者や広島、長崎の被爆者の人た  
ちが皆この世を去った時だよ。日  
本社会にどんな形で戦争が継承さ  
れているのだろうかということだ」  
そのために私たちの世代に何が  
できるかを自問することだ」と立  
花さん1期生も。私たち戦後民主  
主義の第1期生とどうすべき存在に  
課せられている役割は何か、を真  
剣に考えなければならぬ。

私たちの世代は小学1年から、  
その前年あるいは前々年を全否定  
する教育を受けた。だからあの戦  
争はまるで徳川時代のだから時間  
の連続性から切り離されている。  
地続きで考えることができません。教

訓が他動的になるといってであ  
った。  
これも立花さんに同感したので  
が、あの時代の過ちを特殊化、特  
異化してしまつて、時間の連続性  
の中で見ない、受け止めないとの  
愚を犯している。日本社会が戦時  
を徳川時代のようにしてしまつて  
ここに危険性があるということに  
なる。体験者が一人もいなくな  
たら、また同じような間違いを繰  
り返すのではないか、という分析  
はもっともだと私も思えた。

△自省が必要  
私たちは、戦争体験を継承すべ  
きたと言ひ、次代に伝えることを  
正義の発露と考え、その実践に努  
めてきた。しかしこれからはその  
ような時代ではなくなるのではな  
いか。一度立ち止まって黙考すべ  
き時ではないか。  
それは語り継ぐことをやめると  
か、傍観者の思い出しとして語る  
のをやめるといふ意味ではない。  
立花さんが指摘したように、体験  
者が一人もいなくなる時代がそこ  
まできているのだから、戦争体験  
の継承には、これまでのような手  
法や精神でいいのかとの自問が必  
要だということになる。

傍観者の徳川時代を語るよう  
な戦争体験ではなく、今の社会が  
あの時と同じような問題を迫えて  
いるのではないかと考えてみる  
ことが必要だ。例えば「軍部独裁」  
といふけれど、実際は軍部が行政  
を握り、司法、立法を腐敗化した  
のである。昨今の行政独裁に通じ  
ているのでは、どの目線が必要だ  
それを見逃してはいないか。そつ  
う自省を基にした継承こそ意味を  
持つはずである。その自省を基に  
した手法（立花さんはデジタル・  
コミュニケーション構想を持っていた）  
を私は考へた。戦争の記憶を絶  
やさないというのは、この8月の  
新たな決意でなければならない。

### ○隈元コメント

私は、今見終わりました。  
おかげで大東亜戦争に至るまで  
の頭の整理ができたような気がし  
ます。

現状は西山さんのいう通りだと  
私も思います。  
安倍、菅時代ほど酷い政権を知り  
ません。もっとも小泉が首相にな  
るまでも一年しか保たない政権で  
したが、それ以前の吉田や池田、  
田中などは功罪あってもそれなり  
の国造りに励んだ政権ではなかつ  
たでしょうか。  
現在は与野党とも人物が払底し、  
希望が持てない時代になりました。  
いい意味の国士がいません。それ  
でも選挙は大事です。

### ○大石コメント

nhk 今観終えました。ビデオも同  
時収録されてます。時々、Eテレ  
で高校野球(第4戦)石川と山口  
戦の8.9回戦を観たりでしたから。

昨夜観たBSプレミアム『ヒットラーに……』の駐ドイツ大島大使の三国同盟への画策と合わせて見たらあの時の日本の  
状況が俯瞰されて、勉強になりました。

今朝の保坂氏の評論も合わせて80歳にしてやっと『開戦前夜の日本』を概況として捉えられたかな...そう思います。  
もっと、今からです。  
日本誕生(古代史)から、令和まで一通り掴んでからあの世に行ければと思います。

○保坂さん 奥さんを亡くされてから  
一時元気がないように見受けられましたが  
最近、なぜ日本がだめになったかを書き綴っています。

半藤一利さんとの対談などにもよいものがありました。

語り伝えるということは書き残すということだと思います。

語りや映像もよいが、文字にも力があります。

中国の南シナ海での動きは、隆盛を誇っていた15世紀ごろへの回帰のための基盤作りのように見えます。

=====西山 和宏

### ○隈元コメント

私も今朝、保坂正康氏のこの記事を読んでほぼ同じ年齢でそれぞれの戦争体験をしているなあと思うことでした。

しかし、これらをそれぞれがどのように伝えていくかですね。大石くんもそれについては既に今年も含めていろいろ振り返って書いていますね。私もまとまりはないながらブログに何編か書いています。

それでも未だ書き足りないこともあるような気がします。もういっぺん、想いを新たに振り返ってみてもいいなと思っています。

年々想いは進化するような気がします。いや、正確には退化です(笑)

### ○木場コメント

西山さん

隈元さん

大石さん

森永さん

配信 ありがとうございます。

隈元さん、森永さんは 長崎に住んでおられたことから 思い出を述べられ、西山さんは 鹿児島孤児院「仁風寮」など B29, グラマン 敵機来襲を覚えている世代なので それぞれの思い出 非常に興味深く読みました。

西山さん「『焼き場に立つ少年』は何処へ」長崎新聞社 吉岡栄二郎著に掲載されたジョー・オダネルの著書「Where istheboyofCremationSite」の抜粋やインタビューなどコピーした添付ファイル11個 順次送ります、など すぐに 送られるなど どこかに 保管してあるのですか これも びっくりしております。西山さんの タイムリーなコメントなど いつも 感心しております。

添付 ファイル 11個 コピー取り 先日の TV を思い出しながら 一気に読みました。

今年の終戦記念日は 貴重な思い出となりました。

コロナウイルス ワクチン接種済でしたが変異株が 流行ってきているようです。まだまだ 外出控え 注意怠らず 過ごしていかなば・・・と思っている今日この頃です。

お互いに 健康に 留意しながら 過ごしましょう！皆さん ありがとうございました。 木場 祥雄

○みなさん クィックレスポンスありがとうございます。 西山アンサー

23歳のジョー・オダネル軍曹は、1945年9月23日、佐世保上陸後月が変わらないうちに、佐世保市内の写真店で私用に使用するカメラ、スピード・グラフィックとローライ・フレックスを入手しました。

「焼き場に立つ少年」とともに下の写真などは、軍紀に違反して私用に撮影した物でした。

これらの写真とともに、「原爆投下はやってはいけない間違いだった」と言ったことは、特に記憶されるべきものだと思います。



○話題は変わりますが、「秋丸機関」の「特攻 知られざる真実」についても昨夜録画をしています。

まだ見ていないので「秋丸機関」のことがどれほど取り上げられているのかわかりませんが、いずれにして当事者の秋丸次朗の息子さんの息子・秋丸信夫さんと会ったことのある私達からも何らかの発信をしましょう。森くんが一文をかいてくれればいいのですが。 隈元達雄

## ○今日は暇があったので…… 大石くんコメント

隈元くんへ

八期オンライン通信第二号の構想を練ってみました。

最近多くなったスマホ LINE トークをこのワード画面に如何様に治めるか？悩んでいます。

挿入した画像が勝手にあちこちへ飛んでいくからです。しかも、パソコンにスマホから転送するのに余分な部分をカット修正してからなのでまあ勉強にはなるけど苦戦します！！！！

そこで、本編自体を二部に分けてまったく別に『LINE トークバージョンを作ろうかと思えます。

つまり、今までのように文章と混ぜないようにして見ようかと思えます。 どうなる事か？

ところで、南郷くんの息子さん（福岡）がデルタ株に罹ってしまいました。茅ヶ崎市にいるぼくの妹とその息子も（もう治りましたけど）罹りました。

人数が増えるということは身近に患者が出るという y ことです。

ほんとうに気を付けた方が良いかもです。

そんなのに9月1日発の『今こそ鹿児島の旅！奄美大島』は未だキャンセルはしていません。向こうから言ってくるまで待とうと思っています。

今日、52号『八期オンライン通信』前半版PDF 出来ましたので隈元くんだけに送ってみます。今月のコメンテーターですので見てください。ところで来月以降のコメンテーターは決まっています。

候補 **？** 推薦 **？** ありますか？

50周年記念号に投稿してくれた仲間たちから選びたいと思いますが果たして誰が書いてくれるやら？？？堀田マーコにでもハプニングで頼もうかな？？テーマ步「いま！私がしたいこと・・・」如何ですか？  
順当なら浜崎☐森☐木場くんでしょうがハプニングしたい気も満々です。

## ○クマモトコメント

大石くん

まだ半月あるのにもういつ出してもいいようにまとまりましたね。

「本編を2つに分ける」というのはいいアイデアだと私も思います。LINE の方には誰でも書き込みしやすいし、LINE にしか書き込まない人もいますからね。

南郷善ちゃんの息子さんや大石くんに妹さん・甥っ子さんまで罹られたとは驚きです。

私も娘のところの孫(ちょっと心配していた男の子です)が今年の春に上京したのでいつも心配しています。

その孫についてはコロナの心配よりも仕事合わずに、1ヶ月も続かないのではと思っていましたが、足掛け6ヶ月を経た今も帰鹿してこないのが杞憂に終わればよいなと思い始めているところです。

奄美大島はどうなるのでしょうかね。気が揉めますね。まあ、中止の場合でコロナ禍が終わってゆっくりいくという手もありますからしばらく様子を見るしかないですね。

(コメントーターをマーコさんをお願いするというのもいいのではないですか。喜んで書いてくれると思いますよ。LINE みたいなことにはならないでしょう。)

しばらく後の候補として藤崎くんもいますね。地域のボランティアとしても頑張っていますし、建築家として全国を巡っているし、娘さんが外国にいるので海外にも何回もいっているし、話題は豊富だと思います。

今月は原爆や終戦記念日など戦争と平和にちなんで「焼き場に立つ少年」が取り上げられて、八期仲間や本田さんからも多大の反響がありましたね。

こういうテーマを誰かが投げかけてくれると盛り上がりますね。そして、大石くんもいつも言っているようにコメントーターあと少し増えればいいですね。 隈元達雄

## ○大石アンサー

さっそく丁寧なクマモトアンサーありがとうございます。隈元くんの文章はスラスラと読めるので good !  
です。

今月の終戦記念日 8 月 15 日の特番『焼き場に立つ少年を探して』は西山くんのトクダネでしたね。  
メールに添付された 12 ページの pdf 原稿よみましたか？

電子(原田)学園に特待生で入学したお孫さん(発達障害?)も東京に、独り立ちされましたか？子や孫の成長には驚かされますね。

ところで話しは変わりますが新名一仁さんの新著「義久・義弘の?!」角川書店…買いましたか？  
本の内容特に第3章、第4章は面白そうですね。Facebook に本人が内容を細かく書いていますね。

文庫本までは待てそうにありませんがこのところ読書よりテレビ視聴が多いのでビデオがこなせきれません。  
毎日5本以上(プライムニュースはほぼ毎晩)とりわけスポーツ番組に参っています。

## ○8月16日 クマモトコメント

大失敗をしてしまいました。それは「秋丸機関」の14日録画をしないとイケないのに15日の「特攻隊」の録画をしました。

いろいろ調べた所、NHK オンデマンドで見れそうです。明日挑戦してみます。

テレビ視聴といえば、私も毎晩のように「報道1930」と「プライムニュース」にハマっています。重なるので録画をしたりしています。

それに昔見た「大地の子」をもう一回見たいと思って録画していますが、録画がたまるばかりです。

「義久・義弘…」も先日届きましたが、積んでいるだけです。facebook も未だ見ていませんが見ましよう。 隈元

○ありがとう。

森くんから連絡があったのは「ヒトラーに傾倒した男～A級戦犯・大島浩の告白～未公開証言」です。

今夜のこの番組も面白そうですね。録画して見ます。 隈元

マーコより特殊メールが入ります。

8月17日

○何で江戸川にいるかと言うとね  うちのダンナは 12 日に来る事になっていたのよ  何でかと言うとね

初めの江戸川の家からね。

ツタがはびこって 見てくれと言われて 見に行くと 決めていたの 

テレビ  が 2 週間後には 12000 人に感染者がなると言うので それなら 今 私も行くわと来たのよ

 江戸川の家 昨年 11 月 住所表記がかわり 当家江戸川 2 - 46 - 7 旧江戸川 2 - 1

- 1 新 になりました 

銀行やらの 手続きをして無いのです 今年中なのよそれでね 今しか無い と来た訳なのよ 

こんな 世の中で どうなるか  秋に 北海道の

ウインザーホテルに泊まりたくて 予約したけど 政府から中止になるかも と思ってます  今日は

義妹宅やら 銀行歩いて来たので 昼寝   無し 眠くて 早寝するからね

15 日 娘夫妻と墓参りして 16 日 館山へ その後に清水の話し で連絡するからね お休みなさい

追伸

古市くんの 件 私も 少々合わないかなと 思っていました   
親戚とかで無いのかしらね--

### ○クマモトコメント

黒木和雄監督の「TOMORROW 明日」が紹介されています。

舞台は長崎市の浦上地区(シドリ安全長崎のすぐ近く)の三浦家という設定のようです。

昨年お世話になった監督の弟さんのことなど懐かしく思い出します。お元気ですかね。

ネットで探して見ましたが、無料で見ることはできないようです。

いずれ、何らかの手段で見たいですね。 隈元達雄

### ○森コメント

黒木監督戦争レクイエム4部作の一つですね。監督生前にえびの市文化センターで本人も出席して作品上映会がありそのとき鑑賞した記憶があります。

○森くん関係を尋ねてコロナ後には和枝さんも誘って、えびの市、都城市を訪ねませんか？ 大石

○お久しぶりです



ゆっくりした一日 携帯のメールボックスを久しぶりに開けて観ました!?! 大石さんからのでした^o^

体の方もだいぶ良くなりウズウズしていましたら

えびの方面行きを見つけました。私もぜひぜひ連れていつてください。

ヨロシク 永野和枝

### ○森コメント

えびの、都城方面でまだ行ってみたいところがありましたかね。計画を練ってください。

### ○クマモトコメント

大石くんにはたくさんの関連資料メールいただきありがとうございました。

今年の夏は戦争の記憶を呼び戻す夏になりましたね。そして平和を願う気持ちを一層持たせてくれる夏になりました。

「焼き場に立つ少年」に始まり、「秋丸機関」から今朝の南日本新聞に取り上げられた「TOMORROW 明日」まで。

しかもあとの二つが森くん関連で私達も昨年訪ねた先だったのにも驚きました。えびの市と都城市で森くんの従兄弟さんたちに歓待を受けていろいろご教示を受けたことが昨日の事のように。

YOUTUBE で見るのができたのは「美しい夏キリンマ」だけですが、黒木和雄監督の作品をたくさん見たいと思います。

ミスミなどで DVD をこれから探します。 隈元達雄

### ○8月20日 クマモトコメント

おはようございます。

2通のメールありがとうございます。

天皇が神か人間宣言する話は、おぼろげにはわかっていたのですが、この中村明蔵さんの文書ですっきりしました。

また三山陵の決定に鹿児島出身の維新政府官僚が大きな力を発揮したというもなるほどと思うとともに、このことはともかくとして力があれば、ある意味では歴史も捻じ曲げられる

という事実を見たような気がします。

「不屈の両殿」島津義久・義弘は私もアマゾンに発行前から頼んでいて、もうだいぶ前に届きましたが、まだ1ページも開いていません。

戦争番組などに気をとられていたことと、家のこそくりを始めたりで(ブログにアップ)落ち着かない日々を過ごしています。

今日は午前10時に小森歯科に月一回のクリーニングの予約をしているので雨の中でも出かけます。 隈元達雄

### 大石アンサー

○中村明蔵記事、読みにくいによく読まれましたね。西山くんにも送ってみようかなあ。

でもやっぱり行ってみるものですね。『小伊勢神宮』の記事も訪れた様子が頭に浮かぶからこそだと思います。

森くんに感謝(あっ森くんにコピー送っていなかった)です。

二人に送ります。

………「南九州から日本史を覗く 中村明蔵」は資料添付します。 大石

### ○西山コメント

中村明蔵さん

鹿児島駅のそばの線路沿いで、天皇陛下を迎えたそうですが

ひょっとした、長田中学の校庭であったかもしれませんね

あそこからは、列車がよく見えます。

よく知られていることだと思いますが

あえて述べれば、尊王攘夷、王政復古を唱えて行った  
明治維新であったため、ことの良し悪しを論ずることもなく  
行きがかり上、律令制度を復活ということになったのでしょう。

外国から日本には統一された法制度、行政組織がない  
日本は1つの国家ではないと指摘されたことも  
古代の統一国家制度を復活させたことになったと思います。

王政復古がひいては廃仏毀釈になってしまった。  
範を垂れるために、鹿児島はそれを徹底して行った。

国家の制度は何かのはずみで大きく変わるものです  
コロナ騒ぎで、国民の行動を制限できるロックダウンを  
行うための法制度が必要だと人たちがいますが  
そんなものを作ったら、どんな時に何に使われるか  
分かったものではありません。

=====西山 和宏

○クマモトコメント

おはようございます。

2通のメールありがとうございます。

天皇が神か人間宣言する話は、おぼろげにはわかっていたのですが、この中村明蔵さんの文書ですっきりしました。  
また三山陵の決定に鹿児島出身の維新政府官僚が大きな力を発揮したというもなるほどと思うとともに、このことはともかくとして力があれば、ある意味では歴史も捻じ曲げられる  
という事実を見たような気がします。

「不屈の両殿」島津義久・義弘は私もアマゾンに発行前から頼んでいて、もうだいぶ前に届きましたが、まだ1ページも開いていません。

戦争番組などに気をとられていたことと、家のこそくりを始めたりで(ブログにアップ)落ち着かない日々を過ごしています。今日は午前10時に小森歯科に月一回のクリーニングの予約をしているので雨の中でも出かけます。 隈元達雄

○森コメント

時蔵さんは中村修君の兄上ですね。今まで県内の三山陵は古代から存在していたものと思っていましたが明治時代に神話にこじつけて作られたものだったのですね。目からうろこでした。

○ 大石アンサー お元気なうちに是非一度お会いして見たい方です。

○8月21日 マーコより 藍子ちゃんから 返信   があった  良かったわ  
元気にしてるみたいよ

○ よかったよかった。

藍子さん、メールは何を使っていますか？

以前はeメールでぼくもやりとりしていました。マーコはどこに宛てましたか？ 大石

### ○隈元くんブログより転載

高校の同期生たちとメールとLineを通じて日頃やりとりをし、それをまとめて毎月40余名の同期生に「八期オンライン通信」として送る労をとっているKくんという存在がいる。7月までで51号を数えた。

8月の交信の中で、原爆や戦争のことがやりとりされ、ある日仲間からこの「焼き場に立つ少年」の紹介があった。その時、私は初めて写真の存在を知ったが、それを追いかけるように8月13日深夜（14日午前0時）からNHK テレビ2チャンネル・ETV 特集で「『焼き場に立つ少年』長崎原爆孤児の戦後」として放送されるとの知らせが別の仲間から入った。

私は35歳から長崎市に3年だけだが住んだことがあり、近所の人との交流や次男が通った教会の幼稚園で父母の会の副会長や会長をやったことなどから、神父さんやシスター先生との交流もありキリスト教にも少しは触れることができたと思っている。そのような平和を願う敬虔な街でもある長崎は異国文化とも相まって印象は強く今でも長崎は大好きである。

周囲にはクリスチャンの方も多く、日曜日には家族揃って教会に通われる姿も数多く見てきた。また職場は長崎原爆爆心地点の松山公園、平和公園、浦上天主堂を結ぶ三角地点のちょうど真ん中くらいに位置していたため、戦争や原爆や平和のことを考える環境にあった。



本題に戻る。

1945年8月9日、11時02分長崎の街は一瞬の閃光とともにガレキと化し、その年の暮までに7万人の命が奪われる大惨事となった。長崎市だけでも親を亡くして孤児となったのは2300人に及んだ。

今回の「焼き場に立つ少年」の写真を中心にした特集については、NHK 長崎放送局が3年前から調査してきたという。この「焼き場に立つ少年」のことは、2019年8月にもNHKで「戦跡 一薄れる記憶ー お母さんに会えたのかい 原爆の地に立つ少年」として放送されたという。今回はそれに加えてわかった新しいこと

を放送するものだ。

写真はアメリカの従軍カメラマンであったジョー・オダネルが撮影し、その後世界中で公開された。

ただジョー・オダネルが残した上の写真は「裏焼き」されて左右反転している可能性があるとの指摘がある。それは①上着の前合わせが男性用に見えない。 ②戦時中は名札を左胸に縫い付けるようにされていたが、少年の右胸についている。つまり、下の写真の左側がオダネルが残したもので、本当は右側のように焼き付けるのが正解だというのだ。

そのことは兎も角として、「焼き場に立つ少年」は亡くなった弟をおんぶして、火葬のためにこの焼き場にやってきたのだ。ボロボロの服、やせ細った身体、裸足、それでいてキリッとした表情。このとき少年はどのような想いを抱いていたのだろうか。写真を写したオダネルは次のように書き残している。

「少年は焼き場のふちまで進むと、そこで立ち止まる。係員は背中中の幼児を下ろし足元の燃え盛る火の上に乗せた。炎は勢いよく燃え上がり立ちつくす少年の顔を赤く染めた。私は彼から目を離すことができなかった。少年は気を付けの姿勢でじっと前を見つづけた。急に彼は回れ右をすると背筋をピンと張りまっすぐ前を見て歩み去った。一度もうしろを振り向かないまま」

オダネルはこの少年のことを死ぬまで気にしていたそうだが、彼も行末を知ることはなくこの世を去ってしまった。

今回の特集でも写真に残された痕跡の石標や通信用のケーブルらしきものなどを手がかりにNHKが調べた記録が放映されたが、現段階では少年の行末を知ることはできなかったようだ。

放送の中である人が「戦争の悲惨さを伝えるこれほどものはない」と言っていたが、私もそう思った。再放送があれば、皆さんにも是非見ていただきたい番組である。

### ○8月22日 南日本新聞より 大石ケイジコメント

中村明蔵さんの世界・興味深々.神話の世界の裏表世代??

### ○クマトコメント

主に神話にもとるものとはいえ、身近にあると大いに興味を惹かれます。近くに行くことがあったら、またこの中のいくつかでもめぐりましょうか。クマト

## ○森コメント

日当山温泉にある熊襲の洞穴が抜けてますね。

## ○西山コメント

神話の大本、本当に楽しそうですね！

## ○クマモトコメント

主に神話にもとるものとはいえ、身近にあると大いに興味を惹かれます。近くに行くことがあったら、またこの中のいくつかでもめぐりましょうか。クマモト

## ○クマモトコメント

いろいろ資料ありがとうございます。

私が行ったことがあるのは、八期会で内之浦に行った帰りに寄った「吾平山陵」だけです。私は当時は伊勢神宮は知らなかったの、雰囲気は明治神宮に似ているなど思ったものです。

溝辺の近くの「高屋山稜」は下を何回も通りましたが、まだ寄ったことはありません。

「可愛山稜」も新田神社の奥にあるとのことですが、新田神社には何回も行っていますが、奥まで行ったことはありません。神話の世界はこれからです。クマモト

## ○8月22日新聞より 大石 提供

ぼくがいちばん危惧したことが今朝のこの記事でした。種子島は馬毛島譲渡で後世へ多大な負の遺産を残すことになった。

## ○隈元コメント

私が西之表市と馬毛島間の距離を測ってみたところでは12、3Kmくらいしかありません。

そこに馬毛島から係留施設が1、3kmも東に伸びて造られるとのことですが、私が学生時代に種子島から馬毛島を望見して「希望の島・平和の里」と感じたことを以前にも書きましたが、そういうイメージは全く無くなってしまいますね。

しかも特産の「トコブシ」(ながらめ)などの好漁場がまさに失われようとしています。

この時期にこのようなことを発表する政府のズルさを感じて仕方がありません。クマモト

## ○西山コメント

終戦後、朝鮮から引き上げ、母の兄弟を頼って種子島に行きました

翌年、国上小学校に入学し、2学期までいて、鹿児島に戻りました。

伯父さんや従兄弟たちに連れられて、海に行き魚釣りをし

海岸で石を積んで、竹やぶに隠し置いてあった鍋に海水を入れて

ながらめや魚を入れて煮て食べました。

ながらめは煮て味噌漬けにしたものが旨かった。

馬毛島、今の知事では、どんどん計画をすすめるでしょう

辺野古の例でみると、決まっても、かなり時日を要するようです

そうこうするうちに、計画はどうなるか分かりません。

地道に、反対意見、歓迎していないことの表明を続けることでしょう。

○ 馬毛島の港湾計画  
クマモトコメント

私が西之表市と馬毛島の間の距離を測ってみたところでは12、3Kmくらいしかありません。

そこに馬毛島から係留施設が1、3kmも東に伸びて造られるとのことですが、私が学生時代に種子島から馬毛島を望見して「希望の島・平和の里」と感じたことを以前にも書きましたが、そういうイメージは全く無くなってしまいますね。

しかも特産の「トコブシ」(ながらめ)などの好漁場がまさに失われようとしています。

この時期にこのようなことを発表する政府のズルさを感じて仕方がありません。

クマモト

# 港湾計画が波紋

## 防衛省発表案 市民ら不安視

## 「漁できぬ」「なぜ今」

揺れる  
馬毛島  
米艦載機FCLP

西之表市馬毛島の米軍機訓練移転と自衛隊基地整備計画に絡み、防衛省が公表した港湾施設のイメージ図が波紋を広げている。好漁場での建設に賛成、反対両派とも漁業の衰退につながる不安視。これまで具体的な説明がないまま環境影響評価(アセス)が進み、期間延長に伴うボーリング調査の再開を控えたタイミングでの発表に疑問を抱く。



素潜りでトコブシを捕る漁師。東側沿岸域は好漁場となっている  
＝6月、西之表市馬毛島(緒方隆撮影)

防波堤や棧橋など東側は沖合約1300mに改修する海上自衛隊最大級の護衛艦「いずも」型(1万9950トン)も入港できる規模とみられる。基地工事で終了後に撤去する仮設棧橋(700m、500m)計3本、南部の揚陸施設2カ所も示した。

### ■死活問題

イメージ図通りになれば、島東側は関係船舶や艦艇の「玄関口」に。基地整備に否定的な60代漁師は「危険性

が増し、漁ができなくなる」と懸念する。種子島特産の海産物の一つがトコブシだ。種子島漁協では例年2、3前後を水揚げし、うち馬毛島周辺で捕れたものが4分の3を占める。特に東海域は好漁場として知られ、死活問題になりかねない。西之表市などは国の離島漁業再生支援事業で2005年から稚員約1、2万個を毎年放流し、資源保全に努めてきた経緯もある。50代漁師は島の有効活用には基地しかないとし

### 夏の「競演」鮮やか 甌島



薩摩川内市の甌島で夏の風物詩であるシシノハマカンゾウと遅咲きのカノコユリの見事な競演が見られる。同市下甌町片野浦にある「みっちり百合草原」の群生地では21日、斜面に2色のじゅうたんを敷き詰めたかのように咲く花々が、時折曇り間から差し込む日差しに輝いていた。

た上で、「稚員放流や期間限定の漁を認めてくれなければ納得できない」と話す。近海はキビナゴヤトピウオ、アオリイカ漁も盛んだ。防衛省は港湾整備計画に伴い、既に漁業補償調査を開始。県内の漁協幹部は「巻き網漁などで県内外から多くの漁船が来る。補償範囲は相当広くみなければならぬ。だろ」とくきを刺す。

■急な説明  
防衛省がイメージ図を発表した時期にも疑問が噴出する。ボーリング調査の再申請が許可され、塩田康一知事が調査手法などを示したアセスの「方法書」に対する意見を提出した7月20日から間もないうちに8月6日だった。八板俊輔市長は「市民の混乱を招きかねず、配慮を願いたい」

とコメント。中種子、南種子両町の担当者も「公表前日、急に防衛省から説明を受けた。なぜ今なのか」と首をかしげる。塩田知事は「ただのイメージ。ボーリング調査を進め(次段階の)アセス準備書でしつかりしたものを出してもらう」との考えだ。「方法書」には港湾施設の詳細な説明がなく、国民や自治体から

○8月22日 大石提供 『BS プレミアム 中国革命の『血と涙』

<https://youtu.be/wsxmNQBhzvk>

**上をタップしてください**

辛亥革命の時(1910年)の貴重なフィルムが沢山出てきます。

孫文や黄興が活躍した辛亥革命・2000年続いた中国王朝が終わり告げました。

実は、それからの数十年がどうであったかがこの番組(フィルム)で改めて理解できた貴重な記録でした。

○ 8月23日 西山コメント

面白く観ました

1980年代初めと2010年代に訪れた中国には  
まさに隔世の感がありましたが、映像の中国は  
そのいずれとも違うものでした。

近年は訪れていませんが、今日では、  
ハイテク活用では先進国になっているようです。

辮髪、革命運動をするために日本を訪れた者は  
まず辮髪を落としたそうです。

宋美齡の映像も興味深かった。

国法も軍隊も共産党の下にという体制は  
王政のようでもあるような気がします。  
共産党員の子弟でなければ入れない学校が  
あったりで、四民平等などという思想はないようです

衣食住が満たされ、良くなっていく状態にすべきだとして  
植民地支配を受ける前の状態、周辺地域に勢力を張っていた  
時代を復活させようとしているように見える。  
新しい形の帝国主義、覇権主義を進めているようにも見える  
かつて虐げられた人民にプライドを持たせるということかもしれない。

=====西山 和宏

○西山レポート 8月号 ありがとうございます。 添付資料をご覧ください。 大石

○ マーコより 24日

貴方も 私も 今のところ

悪い病気に取り付かれて無い様ですし まあ元気だからこのまま まあまあで

出来るだけ楽しく 元気に生きて 90位から人間やっぱり弱る そんな時

酔っぱらってほろ酔いでも 横になるといつの間にか 寝てるでしょうそんなにして あちらに行けたら

最高だと この頃思うのよ

誰もが 願う事でしょう

寝込まないでの 旅立ち

館山の斜め前に 平屋があるのよ訳ありの方が一人で住んでいて 長男に追い出され うちより後に家建てたのよ そ

の人が 80 も前から 90 迄で良いと言うので 私が 90 になったら 100 迄と言うのでは無いですか ? と いつも笑って

たの 畑したり 乳母車見たいなの 引いたりして 足が弱ると 歩いていたのに 88 歳の今年の春  畳で倒れ骨折つ  
てからバツタリになったの ディサービスに行って 館山に嫁行ってる 娘が 晩御飯食べさせに通うわ もう全然になっ

たのよ !

倒れるのが 一番悪いのよ

階段に気を付けて 紐に気を付けてください 足を取られる 鹿児島島の浜ちゃん 大竜町の小 中学校の  
友人も コードに引っ掛かり骨折 2年位通院 何か車引いて歩いている見たい

貴方も 倒れるのに気を付けてください 本当に寝込まない様にしないと 車  で来てくれる人も 居ないしね ! 毎  
晩何かとともね

あとの事は ケセラセラと昔唄ったけど 毎日が闘い

お互いに 頑張っ生きてきましょう コロナが終息して 普通の日常に戻る日の 少しでも 早い事を 願い  
祈っております m(\_ \_)m

追伸

この前のメール 昨夜出すつもりがどういう訳か昨日夕方から熱が上がり 37℃近所からとうとう呼ばれて  
余り話し しなかったら良いから とかになって私は

少々土産持って 行く事になっていたのに 熱があるのに 悪くて行け無いので

主人に 行ってもらい 足が痛くてと手紙書いて  
江戸川で一番 長く会ったのは 岩手に行った 友人

その人にメールして それとなく 様子を見ようと  
いつもなら すぐに

一大石ですーと来る返信が

来ない やっぱりおかしい 1時間待って 家に電話

一仕事に行ってるとの事ーだったらお元気なんですね とか おかしな会話して大石です 仕事でメール 出来なかった  
と返信

こんな訳で 家にも電話したと メールを返して今は 36℃5 になっているから  
とか大変だったので 自分が どうなるかもわからずメールも出せなかったのよ  
遅くなって ごめんなさい m(\_ \_)m

追伸 2

この人の アドレスはすぐに解るのに 佑子に yukorin & ダンナの名 珍しいアドレスでしょう

なかには 久しぶりに来 て 解らないアドレスで 名前も無し 内容から ? ベランダの住人より

8月23日 大石提供 南洲神社と西田橋〇浄光明寺跡～廃仏毀釈で龍尾神社  に西南戦争の後～  
南洲墓地～南洲神社右手～階段上左に今の浄光明寺はある。

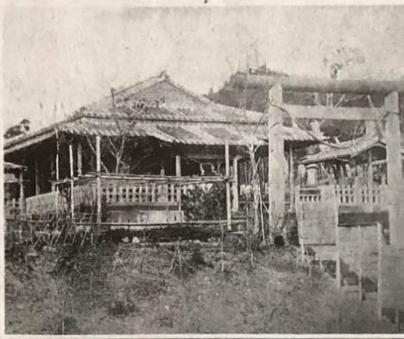
<http://nicool0813.blog.fc2.com/blog-entry-19.html>

# かごしま 街道見聞記

桐野 作人

[29]

## 高岡筋⑥ 鹿児島市



明治中期の旧浄光明寺（上）と西田橋（下）  
＝茂呂司氏提供

ある。後者が有力か。  
時宗の開祖。一遍が建治2  
(1276)年、大隅正八幡  
宮に参籠したとき、島津三代・  
久経が帰依して一遍派の寺にな  
ったという(島津世家)。鹿  
児島三力寺の一つとも称され、  
島津氏初代忠久から五代貞久、  
四代藩主吉貴の菩提寺だった。

「浄光明寺 西郷隆盛ヲ祭ル拜  
殿」と付記されている。石段を  
上ったところに鳥居が立ち、そ  
の奥に拝殿らしき建物がある。  
撮影時期はおそらく明治中期頃  
だと思われる。

同16(1883)年、西郷軍  
幹部の生き残りだった河野主一  
郎や野村忍助らが九州各地に散  
在する戦死者1917名の遺骨  
を境内に改葬し碑を建立した。  
その後、大正2(1913)年、  
参拝所を改築して南洲祠堂と称  
し、さらに同11(1922)年  
に南洲神社と改称した(鹿児  
島市史)。写真は当時の参拜  
所だったかもしれない。

# 明治の浄光明寺、西田橋

今回は前回に引き続き、鹿児  
島正教会の伝教者・マトフエ  
湯川が所蔵したアルバムから、  
鹿児島市の旧浄光明寺と西田  
橋の写真を紹介したい。

浄光明寺(上尾町)は時  
宗の寺院で鎌倉以来の古刹。  
創建は文治2(1186)年説  
と建久7(1196)年説が  
ある。

次いで西田橋である。この橋は  
よく知られているように、甲突  
川に架けられた五大石橋のひとつで、  
五橋のうち、唯一県の文  
化財に指定されていた。  
西田橋は「天保城下絵図」で  
は板橋だった。江戸時代後期、

同16(1883)年、西郷軍  
幹部の生き残りだった河野主一  
郎や野村忍助らが九州各地に散  
在する戦死者1917名の遺骨  
を境内に改葬し碑を建立した。  
その後、大正2(1913)年、  
参拝所を改築して南洲祠堂と称  
し、さらに同11(1922)年  
に南洲神社と改称した(鹿児  
島市史)。写真は当時の参拜  
所だったかもしれない。

めりは 浦 なと客俳化を歩新のをホる 通

### 〇8月24日 木場コメント

大石さん

いつも 情報おっくっていただき有難うございます。

南洲神社に 浄光明寺跡 びっくり 勉強になります。

また 月別 アーカイブでは いろいろな 場所の神社、仏閣など 見ることができます。

興味 深々です。読み切れますか 不安です。

隈元さん いろいろなところの訪問記事、西山さんのコメントなど これまた 楽しく

読んでいます。

今後とも よろしく お願いします。

木場 祥雄

### 〇大石アンサー

しっかり読んでもらってありがとうございます😊 しかも丁寧なコメントまで…

あと、数名でも、木場くんのようなメール仲間がいてくれたら、もっともっとハリのある充実した『八期オンライン通信』が進行するのでしょうか。観てはくれておられるのかも知れませんが。

高校野球、今年は関西地区優秀ですね。大阪桐蔭は残念でしたけど、初回を観て「これくらいで」と思ったけど終わってみたらとんでもないことになりました。

○浄光明寺、絵図で見ると随分と大きかったのですね

南洲神社、6月灯が美しかった、楽しかった

大龍小学校のとき、整地に駆り出されたことが

あったように記憶していますが...

よくぞ大勢の遺骨を収集したものだと感心します

村田兄弟の墓が印象的でした。 ===== 西山 和宏

### ○大石あんさー

ほんとに大きな(鹿児島三大とか?)お寺ですね。

薩英戦争の船からの大砲で全壊したのか? 明治維新の廃仏毀釈で壊されたのか? どちらでしたか?

いずれにしても歴史や地理をいくら読んでも「知らないこと」がありすぎ、知ることによって脳内フォルダが埋まっていきます。

願わくば死ぬまで認知症にならないことを願いながら学び続けたいです。

○私は廃仏毀釈だと思います。

これの推進者はだれでしょう

あまり賢い人ではなかったと思います。

まずいと思っていても時の流れでやってしまったのでしょう

仏像を破壊した現代のタリバンに似た行為... ===== 西山 和宏

### ○大石コメント

ちょっと前の紅衛兵(文革)の方が破壊は広範囲でしたね。

### ○隈元コメント

現在も浄光明寺は南洲神社の境内にあり、私も何回となく訪れています。

いつもは寺の前を素通りすることが多いのですが、上町の歴史を訪ねる集まりのときに、森くん、永野和枝さん(大石くんはこのときは不参加?)の3人で参加して、本堂でお坊さんに話を聞いたことがありました。その時、宗旨が「時宗」ということを初めて知りました。その訪問記は下記にあります。

=<a href="https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201804140000/">https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201804140000/</a> />

西田橋については下記にあります。

移設された西田橋は皆さんのイメージと違いますか。

"<a href="https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201303040000/">https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201303040000/</a> />

### ○大石コメント

さすが隈元くんです。

調べてないことはないですね。

今度コロナ後は『鹿児島ゆかりの神話の里めぐり』～三大山陵から...どうですか?

### ○クマタツさん

浄光明寺にあったはずの西郷銅像の元の木彫りは、

どうなったんですかね=====西山 和宏

○上野の西郷銅像のモデルにったという木彫りの西郷像は昭和 20 年 7 月 31 日の空襲で焼けてしまったそうです。(ネット情報) クマモト

○

○大石コメント (切抜提供) 久しぶり藤原 (古代史) 木場くん関係

### ○木場くんアンサー

大石さん

久しぶりに 奈良の古代史で 木場へ振られたので 摂関政治について わかりやすく?補足 書き述べたいと思います。  
摂関政治とは 平安時代中期に 藤原氏が摂政・関白となって行った政治。

### 摂政と関白

藤原氏は代々、その娘をきさきにし、その子を天皇に立てて、天皇の外戚(母方の新戚)となり、皇室との関係を深め、他の貴族(たとえば、大宰府に流された菅原道真のように)をしりぞけ、政治の実権を握るようになった。

藤原氏は天皇が幼い時は摂政、成人の時は関白となり、天皇に代わって政治を行った。これを摂関政治(せっかんせいじ)という。

摂関政治の全盛は藤原道長(ふじわらのみちなが)と藤原頼道(ふじわらのよりみち)の親子の時代が最盛期を迎えました。

藤原道長を、4人の娘を天皇に嫁がせました。そして、娘が生んだ3代の天皇の外祖父として強大な権力を握りました。これを一家三立后ということがあります。

西暦1018年(寛仁2年)10月16日に威子(いし)が後一条天皇の中宮になった時、藤原道長は有名な歌を詠みました。

” この世をば わが世とぞ思う望月(もちずき)の  
欠けたることもなしと思えば ”

「小右記」より

この日は満月でした(科学の力で調べてみても ホントに満月だったそうです)。それを見た藤原道長は、「この世は自分のためにあるよおうなもので、見上げた満月のように欠けたところをない」ということです。

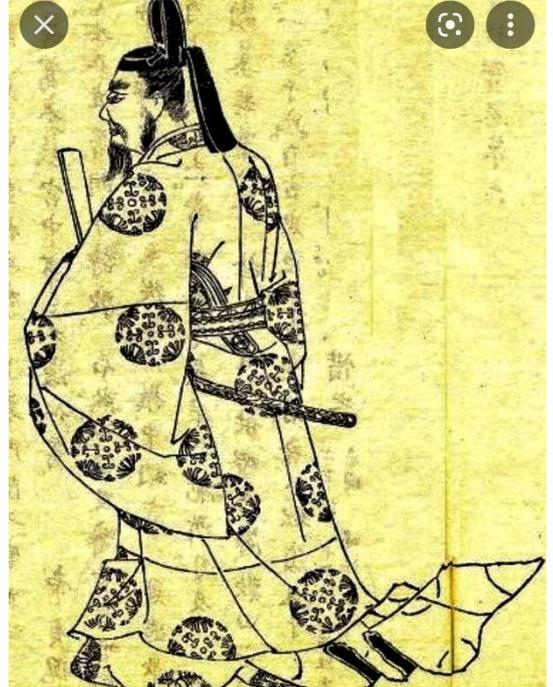
これだけの大きな力を持っていたのだから、藤原道真自らが天皇になってもよかったのではないか! ?と思う人がいるかもしれません。でも藤原氏はそれだけはやらなかった!

日本の政治は「シラス」と「ウシハク」(ある所をわがものとしておさめる)という概念の組み合わせは大切にしてきました。藤原道長であってもそれを守り続けてきたのです。

以上 木場 祥雄

○西山コメント 面白く読ませていただきました

藤原道真は仏教に帰依すること大で死の床にあって、仏像と紐で結んで



極楽への導きをお願いしたようです。 =====西山 和宏

## ○大石コメント

久しぶりに木場氏の得意とする古代史(鎌足～不比等～道長)飛鳥～奈良～平安(摂関政治)  
…聖徳太子をめぐる大仏開眼そしても少し遡ると大化改新と)  
とりわけ大和を中心とした古代史を調べていると  
あと500年遡ると薩摩の隼人の乱の世界や邪馬台国があって、  
逆に500年過ぎると平安そして中世室町が見えてくる。(実際はその前に鎌倉・南北朝時代が100年ある)

それでも、日本の歴史の中ではこの頃がいちばんミステリアスでロマンも感じます。

もっとも実際はどろどろとした凄惨な時代も続いたのだけど。

今後も飛鳥～藤原～奈良～平安の独自の解釈を楽しみにしています。

大石

○もしかして木場くん！スマホに換えましたか？ 大石

○木場アンサー 8月27日

こんにちは

スマホに切り替えましたが いろいろな方から 入ってきますので LINE は家族 家内、長男、次男の3人に限定し 使用することになっています。みなさんとの連絡は 従来通り パソコン による メールで 連絡交換することになります。

以上 よろしく お願いします。

木場 祥雄

○太石クエスチョン 8月28日(土)

木場くんへ

まずは奈良智弁, 決勝戦へ！おめでとう  史上初の兄弟校(ですか?) 対決です。

実際はこの名前(智弁)の由来は分かりませんがおもしろい  忘れにくい対決ですね。  
地元ではどんなに言ってますか？

--○木場アンサー

こんにちは

今日も 真夏日に近い暑い日でした。

さて、高校野球 準決勝で 奈良県 五條市 智弁学園 と 和歌山智弁学園が勝ち残り  
兄弟校での 明日 決勝戦となりました。

奈良県の 中ほどにある地区にある高校で 中西部 和歌山県に面している五條市にある高校です。  
野球の強い常連校 天理とは 若干 近親感？薄い 応援の仕方も違う感じがします。

まあ いずれにしる 京都国際高校に勝って良かったです。 韓国語の校歌を聞かなかただけで  
良かったです。京都国際高校は 北朝鮮出身者が 韓国出身の子供たちのために 作られたもので  
最近では 日本の子供たちにも 門戸を開いています。

以前は 韓国語で授業されていたようです。 今は 選手も日本語の名前で 韓国名の選手？は

居なかったようですか？

話は 兄弟校 智弁学園にもどします。智辯学園は 宗教法人 の辯天宗(べんてんしゅう)を 経営母体として設立しています。

学校の設置している場所は 違いますが、経営母体や理念等は同じです。 よって、同じ高校と考えるとよいかと思 います。

なお、辯天宗は、新興宗教です。

※ 新興宗教は、近年創始された新しい宗教でです。

まあ 今年 は 関西勢が 強くて 興味深かったです。なぜか？ 今年 は 雨で 順延の日が 多く、 関西勢 高校は 地元へ帰り 練習ができた。ほかの高校は 練習がままならなかったと いう解説をしている人がおりました。なるほど…と思いました。

明日は テレビ観戦します。

では また

木場 祥雄

○ 大石コメント

丁寧、かつ明晰な回答、ありがとうございます

京都国際のことも、智弁の辯天宗のことも概況は分かりました。この二つはあまり詳しく知りたくないです。Google 検 索はやめときます。

それより今というか今年というか、法隆寺・聖徳太子(生誕 1600 年?)が熱いですね。

コロナが落ち着いたらもう一度飛鳥時代も学びに奈良を訪れたいです。

明日の智弁対決、打撃戦を楽しみにしたいです。

○**8月29日(日) 智弁和歌山、兄弟校の智弁学園(奈良)を破って優勝！！**



智弁学園を破って21年ぶり3回目の優勝を決め、歓喜の智弁和歌山ナイン

○今日は8月30日(月)晴れ！連日のあの豪雨は何だったのか？そう思います。願わくば早く、「あの連日のコ ロナ禍騒ぎは何だったのだろうか？そう思う日はやくおとすれて欲しいものです。

自分を他人の手にゆだねる日になるべく遅く来るように・・・願いながら8月を終えます！ 大石

